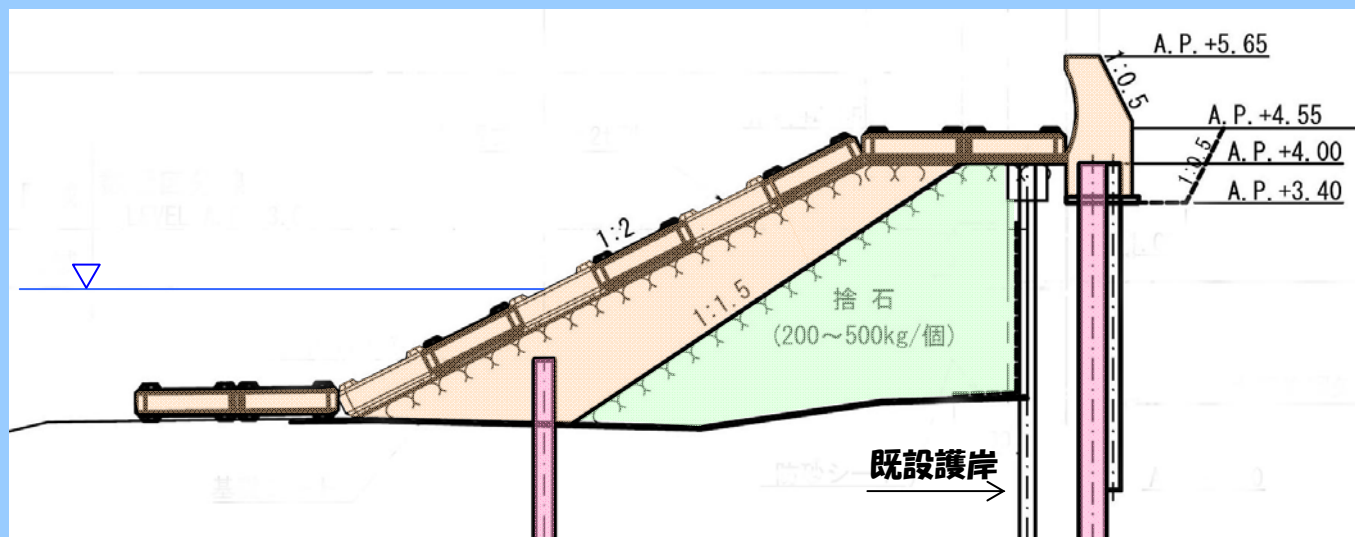


1 丁目工事着手から 2 ヶ月後の検証・評価

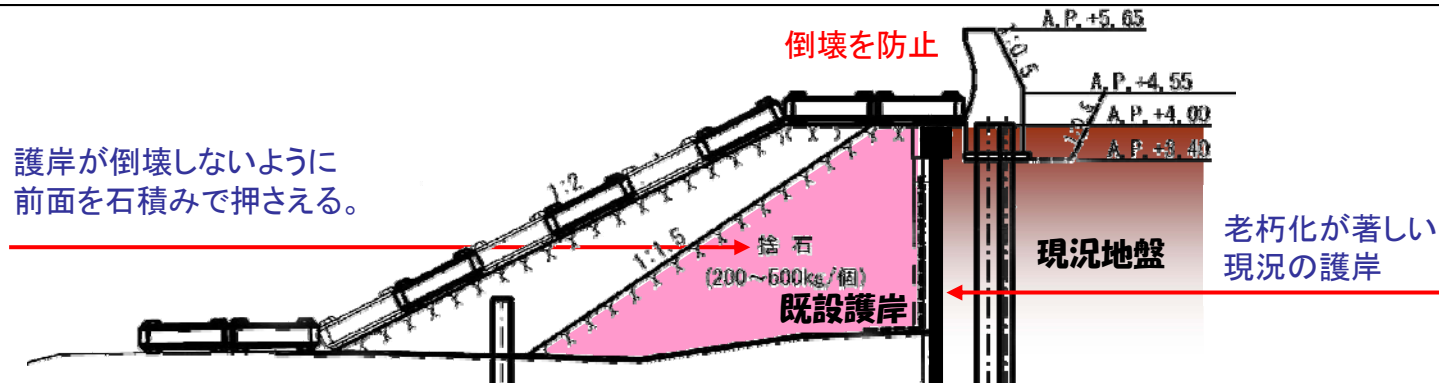
< 防護 >



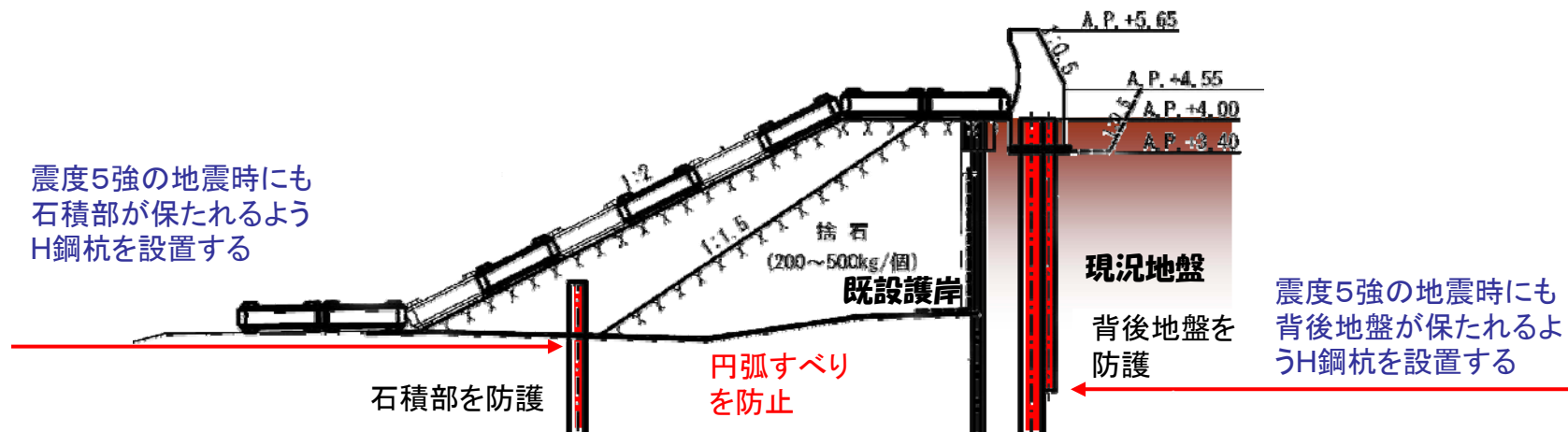
平成 24 年 1 月

1. “防護”に対する3つの指標

- ① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。
◇既設護岸の倒壊を防止。

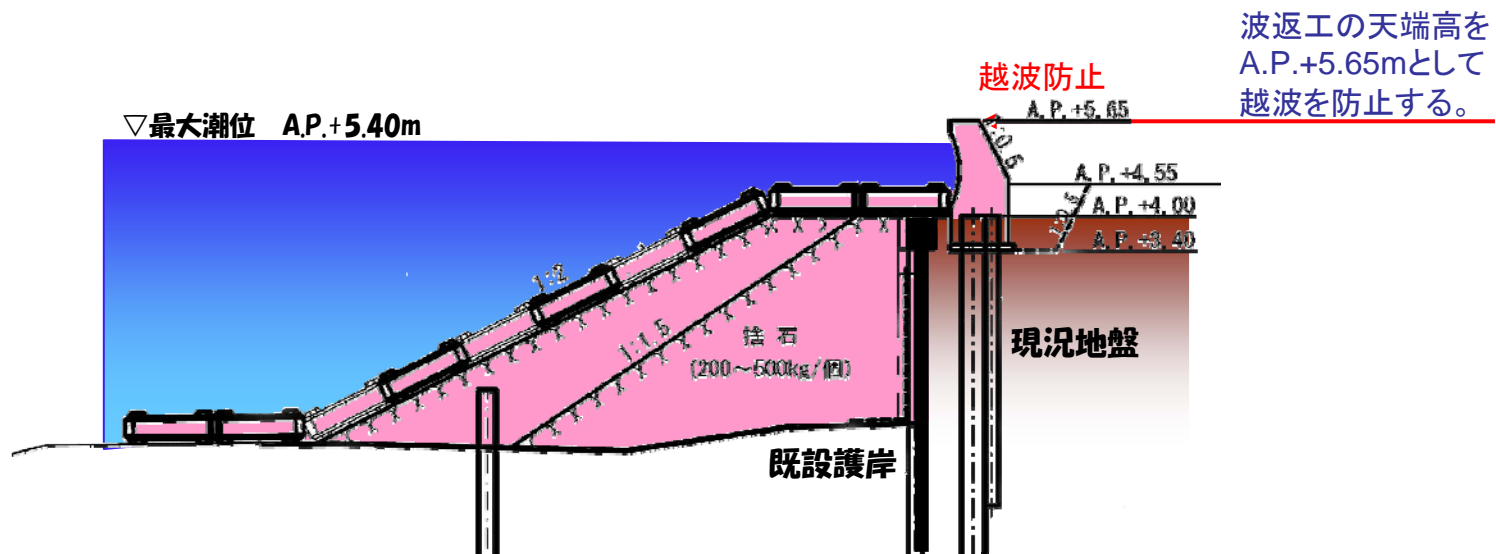


- ② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。
◇海側は石積部の震度5強への防護を確保
◇陸側は背後地地盤の震度5強への防護を確保



③ ”越波低減”への指標 : 傾斜堤の高さがA.P.+5.65mに達しているか。

◇A.P.+5.65m(波返工)により越波低減を図る



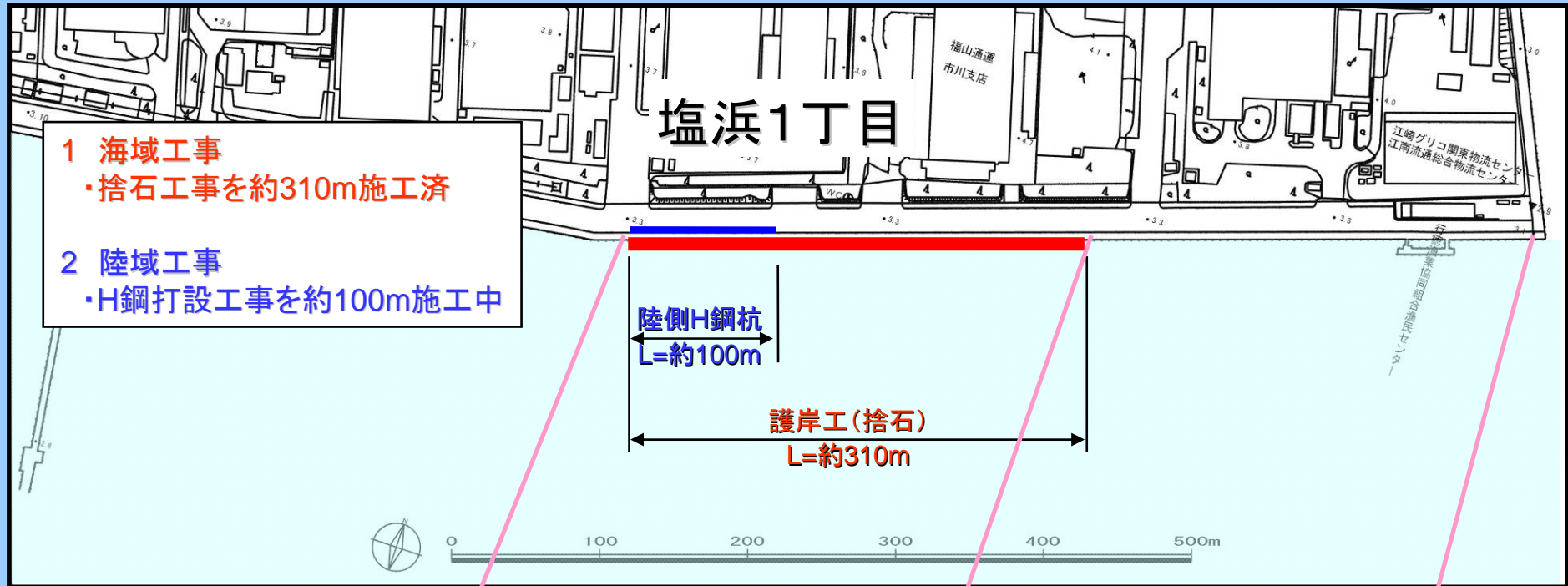
2. 検証基準

目標達成基準

早急な安全性の確保

検証項目	目標達成時期	検証場所	基準とする値
防護の確保状況	平成25年度頃	塩浜1丁目	地域の防護に対する3つ指標がそれぞれ施工延長600mにわたって、 ①緊急対応への指標 100% ②耐震の指標 100% ③越波低減への指標 100% を確保すること。

3. H23年度工事の検証結果(施工中を含む)



	実績	状況	実績	状況	全体
①緊急対応	約310m	51.7%	無し	0.0%	51.7%
②耐震(H鋼杭:海・陸)	約100m(陸側のみ)	8.3%	無し	0.0%	8.3%
③越波低減(+5.65m)	0m	0.0%	0m	0.0%	0.0%

4. H23年度工事の検証結果(指標ごと)

① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。

◇既設護岸の倒壊を防止 ⇒ 52 / 100

② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。

◇海側は石積部の震度5強への防護を確保

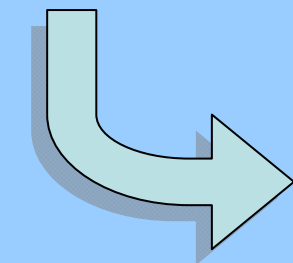
◇陸側は背後地盤の震度5強への防護を確保

⇒ 8 / 100(予定)

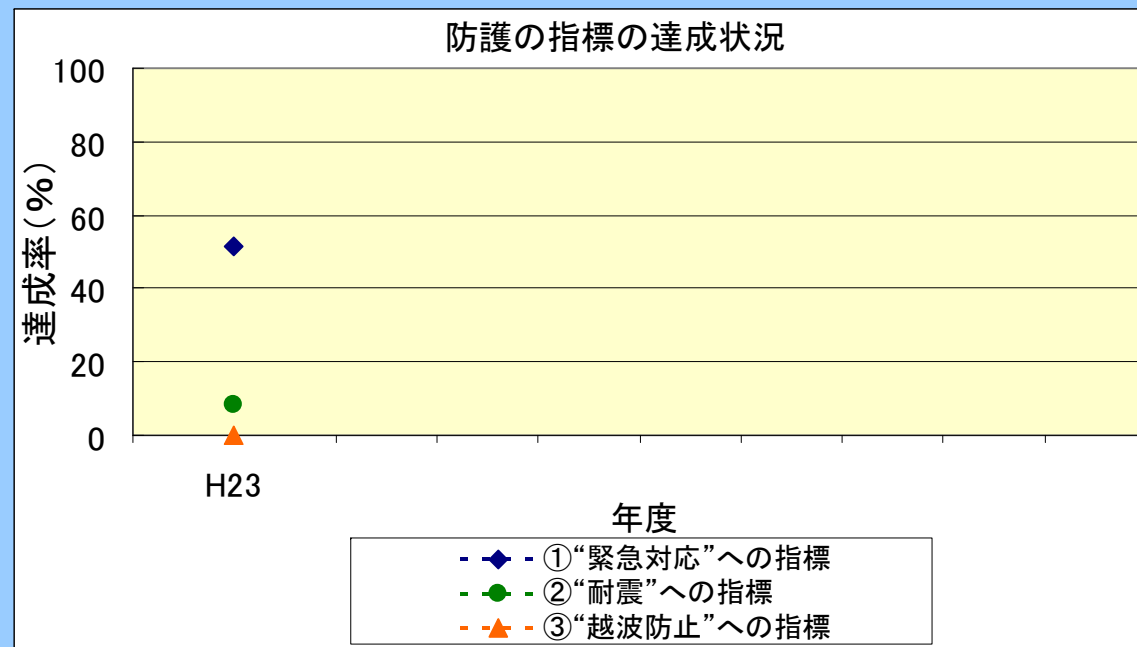
③ “越波低減”への指標 : 傾斜堤の高さがA.P.+5.65mに達しているか。

◇A.P.+5.65m(波返工)により越波低減を図る

⇒ 0 / 100



施工年次毎の
達成状況



5. H23年度工事の評価

目標達成 基準	早急な安全性の確保
------------	-----------



検証結果	① ” 緊急対応 ” への指標 ⇒ 52 / 100
	② ” 耐 震 ” への指標 ⇒ 8 / 100 予定
	③ ” 越波低減 ” への指標 ⇒ 0 / 100



防護の 評価	<p>本年度の結果として</p> <p>① ”緊急対応”については、<u>約52%の施工が完了した。</u></p> <p>② ”耐震”については、陸側100mにおいてH鋼杭の<u>約8%の施工が完了した。</u></p> <p>③ ”越波低減”について<u>本年度は0%であった。</u></p>
-----------	---